

ぽーれぽーれ
(Pole pole)
スワヒリ語で
「ゆっくり…」
という意味です

ぽれぽれシター

ぽれぽれシター

第47号
2021.05.01

理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

- ・安心・安全な医療を提供します
- ・医療連携を進め、地域医療に貢献します
- ・豊かな人間性を持った医療人を育成します

診療案内

内科 脳神経外科 整形外科
耳鼻咽喉科 婦人科 泌尿器科
放射線科 消化器内科 消化器外科
緩和ケア科 乳腺外科
腫瘍外科 腫瘍内科

【診療受付時間】

平日 8:30~16:00

土曜 8:30~11:30

【診療時間】

平日 9:00~16:00

土曜 9:00~12:00

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始



本年4月に師長さんの異動が実施されました。
そこで皆さんに新たな担当部署への想いを
聞いてみました。



外来は、診察室、処置室、化学療法室、放射線治療室、検査部門、手術室を担当しています。抗癌剤治療や放射線治療は外来で行われることが中心になってきており、高い専門性が求められています。

安心して外来で検査や治療が行えるように、スタッフ1人1人日々自己研鑽に努めています。がんの治療に関することや生活で心配ごとや困りごとがありましたら一緒に考え、他職種とも連携を取りサポートしていきたいと思っています。いつでも外来看護師にお声かけください。

<外来部門 渡壁師長>

がん治療（化学療法・放射線治療・温熱治療）を主に、集束超音波治療をされる方や緩和ケア科の患者様も受け入れています。治療と並行して苦痛症状や疼痛のコントロールを行い、機能維持のため積極的にリハビリを行っています。定期的にカンファレンスを行い情報共有もしています。治療効果がおもわしくなかった場合には、患者家族の意思決定に携わり、代替治療の相談、緩和ケア病棟への転棟転科、在宅療法への移行を支援しています。清潔で快適な環境を整え、他職種と協働することで患者家族様に安心・安全・信頼できる看護を提供できるよう日々努力しています。

<4階病棟 湊師長>



2階病棟は、他の一般病棟と同じく混合病棟ですが、異なる点は当院で手術を受けられる患者様が入院される病棟となっております。

病棟としましては、すべての患者様が安心・安全な環境で入院生活を送る事が出来るように、看護スタッフを始め医師及び、多部門の医療スタッフと連携を取りながらより良い医療の提供を目指したいと思っています。

<2階病棟 岩切師長>

3階病棟は緩和ケア病棟です。がんと診断された時に起こる様々な症状に対して日々チーム全体で協力しながら症状コントロールに努めています。患者様へより細やかなケアを提供できるよう他職種参加型のSTAS-J(患者・家族へのケア評価)カンファレンス、また家族様へのケアとしてグリーンケアを導入しています。がん患者様一人一人を大切に、安心・安全・安楽な入院生活を送って頂けるようスタッフ一同努力しております。

<3階病棟 中谷師長>

5階病棟は 当院で最も高い所にあるため明るく眺めの良い病棟です。

『人とよりそう』という理念のもと、人のいろいろなつらさによりそえる看護を目指しています。

コロナ禍で、面会や外出泊の禁止など、入院生活の制限、つらさが大きくなっています。皆様に少しでも安心して入院生活を送って頂けるよう、笑顔を絶やさず、元気に看護を提供できればと思っています。

<5階病棟 中井師長>



新入職員紹介



2021年、新入職員は

看護師14名、看護補助者1名、医師1名、歯科医師1名
薬剤師1名、地域医療連携室事務1名、保育士2名 の21名です。

新メンバーを加えると、医師19名、歯科医師1名、看護師119名、薬剤師8名、
歯科衛生士1名、診療放射線技師12名、臨床検査技師5名、理学療法士3名、
言語聴覚士1名、作業療法士1名、臨床工学技士1名、公認心理士1名、管理栄養士3名、
看護助手16名、クーク11名、SE1名、診療情報管理士3名、医事課10名、
総務部5名、地域医療連携室5名、秘書1名、保育士10名、総勢236名となります。
その他、外来診療については約30名の非常勤の先生方にご協力を頂いています。



ベスト & ブライテスト

ハルバースタム

サイマル出版会

図書紹介

緩和ケア科 若山 宏



我々は、歴史とはすでに存在しており、それを学んで記憶するものと理解している。決して自分で創り出すものとは思っていない。

「ベスト&ブライテスト」とは、1960年代、アメリカ合衆国のケネディ大統領が選んだ、安全保障政策を担当した補佐官たちを指す。一般の人たちは、彼らが別の世界にいて、歴史をつくっていく人たちと考えていた。この人たちが集まって情報を分析し、確固として結論を出していく。それに従って歴史は動いていくものと思っていた。

しかし、この人たちも人間であり、取り返しのつかない失敗をすることがある。それがアメリカの歴史を大きく動かし、ベトナム戦争の泥沼へと進んでいく。

両方の国でたくさんの人が死んでいった。

あの戦争はいったい何だったのだろう。

決して間違わないと思っていた人たちが、最悪の決断をすることもある。

どんなに信頼できると思っている、ヒトの言うことを信じない、という安易な結論で締めくくってはいけない。我々だって加害者になるかも知れないどころか、加害者であることに気付いていないかもしれない。

編集後記：来院される皆様には感染拡大防止に協力して頂き職員一同心強く感じています。なかなか落ち着きませんが、もうひと踏ん張りしていきたいと思っております。

発行者： 中村仁信（病院長） 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号
編集長： 福西康修（放射） TEL072 (641) 6898 Fax072 (641) 6097
編集委員： 村井祐子（医師）岩切昭夫（看護）松澤圭介（看護）常島啓司（情報）
大塚はるか（医事課）東阪真希（放射）

<https://www.saito-yukoukai-hp.jp/index.htm>
「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！

